



2016年4月発行 No. 107

発行者 西島啓喜 編集者 西島啓喜

発行所 〒080-0809 帯広市東9条南8丁目1-3

帯広バプテスト・キリスト教会内

http://hokkaidobap.jimdo.com pw:jbc1947

## 巻頭言

### 「苫小牧教会の今年度の歩みを振り返って」

北海道バプテスト連合 書記 田代 ゆか（苫小牧教会）

## 「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。」

（イザヤ書43：19）

主の御名を心よりほめたたえます。

北海道連合の皆さま、お元気でしょうか。いつも北海道連合の働きを覚え祈り支えて下さり本当にありがとうございます。年度の変り目を迎えて皆さまの教会でも、この1年の歩みを振り返るとともに、次年度に向けての準備に入っておられることだと思います。

私自身この1年を振り返りますと、いろいろなことがありましたが、全て主の守りと導きの中にあつたことを深く感謝できます。思えば4月のイースターでは、新来者が与えられた皆さんの方々と共にイエスさまの復活を喜び祝うことができました。この喜びいっぱいの中でスタートした苫小牧教会でのこの1年。この1年の歩みの中で主からいただいた恵みを、この場をお借りして皆さまと共に分かち合うことができたなら幸いです。

今年度も子どもの集いであるザー会を行うことができました。この名前の由来は、皆さまもよくご存じの通り、聖書に出てくるあの有名なザーカイです。月に1度午前中の約2時間、教会に小さな子どもから大人まで集い、共に育ち合うことを大切にしています。ザー会の流れは、はじめに短く礼拝を持った後に、活動へと入っていきます。活動につきましては、その月の暦の行事を中心に取り入れています。例えば、11月のザー会では、木を使ってサンタの置物を作ったり、カレンダーを作ったりしました。1月のザー会では、福笑いや、お手玉、トランプやかるたなどお正月の遊びを楽しみました。

12月の子どもクリスマス会やキャンドルサービスでは、たくさんの子ども達に加えて保護者の方々も集って下さいました。また、苫小牧教会では、クリスマスの時期に教会のお向かいにあるグループホームでのキャロリングを行っているのですが、そのキャロリングにザー会に来てくれた子ども達と、その保護者の方と共に参加できたことは、主からの大きな恵みであったと感謝しています。さらにうれしかったことは、このキャ

ロリングを喜んで下さったホームの管理者が、入居者を連れてクリスマス礼拝へ出席して下さいました。主からの励ましと祝福をいただけたと確信できたひと時でした。これも細々ながらもザー会の積み重ねがあったからだと思っています。

このザー会が復活して丸3年目を迎えようとしています。奉仕が特定の方に集中してきていること、ザー会へ来て下さった方を礼拝へつなげていくにはどうしたらよいかなどなど、たくさん課題も見えてきました。教会の皆さんと十分に話し合いつつ、この働きを主が豊かに祝福し、用いてくださいますように祈っていきたいと思います。

もう一つの与えられました恵み。それは、新会堂建築へ向けて建築委員会が立ち上がり、具体的な動きが出てきたことです。昨年11月には、奥村先生をお招きし「新会堂建築にむけての学び」と題してお話をいただきました。これから新会堂建築を進めていくにあたり、よき学びのひと時を持つことがゆるされ感謝でした。教会堂建築において考えるべき優先順位として、まずは「主の栄光のため」その次に「他の人々のため」そして最後に「私たちのため」と言う先生の言葉が心に強く残っています。私たちは「2018年のクリスマスを新会堂で！」を目標に建築委員の皆さんを中心に話し合いを進めているところです。人の思いや、またいくらお金が十分に備えられていたとしても新会堂を建て上げることはできません。まずは主の御旨を祈り求めていくことが大切だと思われています。この新会堂建築は、小さな群れである私たち苫小牧教会一人ひとりへの神さまからの「チャレンジ」だと感じています。どうかこのことのために、皆さまの篤いお祈りをよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆さまと御教会の上に神さまの祝福と導きが豊かにありますように。来年度も新しいことを成して下さるであろう主に期待しつつ、共に主を見上げて歩む1年となりますように心よりお祈りいたします。

# ●離任に当たって 田中信矢 牧師（札幌新生キリスト教会）

2015年、年末某日。

父：「ラーメン、美味しかったなあ。」

子：「うん！」

父：「今日はパフェも食べよう！」

子：「ほんとう？やったあ！」

父：「・・・父さんな。3・11東日本大震災があってから、あの津波によって大切な家族や家を失った人たちと出会う、被災地の人たちのことが頭から離れなくなったんだ。・・・」

実はこの前、被災地にある教会から電話があって、『牧師として来てもらえませんか』と言われたんだ。そこには牧師先生がいないんだ。父さん、行こうと思う・・・」

子：「・・・」

（いつも冗談を言う父が真顔なので、嘘じゃないと思い、伏し目がちになる・・・）

店員：「お待たせしました。」（パフェが届く）

子：「・・・」

（パフェを目の前にするも、手がつけられず。目からは涙が・・・）

父：（涙をぐっと堪えて）

「父さん、お前が今、学校でも教会でもとても楽しいこと知ってるよ。友だちと離れたくないのはよくわかる。でも、別れるのは寂しいけど、友だちは減るのではないと思う、もっと増えると思う。離れることでもっと仲良くなれることだってあると思う。夏休みとか会いに行けるよ・・・」

子：（一通り話を聞き、・・・俯いていた顔を上げて言う）

「・・・僕たちが被災地に行くことで、少しでもお役に立てるんだったら、いいよ。」

父：「おまえ、いいやつだな・・・」（堪えきれず涙腺崩壊）

目の前にあるデザートに手がつけられず、溶けてしまったパフェ。

4人掛けのテーブルで2人向き合って泣く親子。

周囲には家族連れの間々。四方からチラチラと視線を感じながら。

ギャラリィ：「・・・きっと、あの親子〇〇〇なんじゃない？そうよねえ、□□□するのもよ・・・」

父親談：うん。間違いなくそう思われたらうなあ。

子：「まったく、パフェ食べ終わってから言うて欲しかったよお！」（後日談）

※提案・資金提供・背後の祈り・・・（妻）

この度、18年間仕えた札幌新生教会を辞し、新年度より

南光台教会（仙台市）に

着任することになりました。

北海道連合の諸教会の

皆様お一人おひとりとの

出会い、そして活動をご

一緒させていただいた

思い出は私にとって生涯

の宝です。この恵みを糧

に新しい出発をいたします。

何とぞ今後とも変わらぬ

交わりとお祈りをよろしく

お願い申し上げます。

本当にありがとうございました！



# ●協力牧師退任の挨拶：「ガリラヤで主に出会う」 帯広教会 澤田二穂 協力牧師

2016年3月末をもって、帯広バプテスト・キリスト教会協力牧師というミニストリーから退任することになりました。室蘭（教会主事1年、牧師3年半）、札幌西野（牧師3年半）、帯広教会（教育主事14年、協力牧師20年）合わせて42年余の長きに亘り、祈り励まして下さった北海道連合の諸兄弟姉に感謝申し上げます。また、北海道連合では、苫小牧開拓伝道（母教会牧師）、連合神学校（校長10年）、研修センター運営委員（副委員長3年、委員長1年）その他の働きを委ねて下さった皆様に感謝申し上げます。70歳を超えても牧師を頑張るといふ先輩・同志の多くいる中で、68歳での引退



（バプテスマ式にて）

は早いのでは、との声もありますが、自分の「退く道を備える」ことも最後の務め、と考えた結果であります。もちろん、（協力）牧師は引退するのですが、「神の召し」は生涯続くものであると考えています。特に、今日、信徒が教会を建てていく、信徒が教会のミニストリーを担う、ということに本気で取り組む時代にきたのではないかと。とりわけ、福音宣教の業が、かつての「大衆伝道」方式では立ち行かなくなった時代に、様々な人生の場面で、「信徒が関係作り」に加わらなければ、新しい「芽」が見えないし、「信徒が〈共同〉牧会」に加わらなければ、複雑で具体的な「信徒ケア」ができない時代に

突入していると思うからであります。一方において、私は、自分の気力や体力も衰え始めている「弱さ」も受け入れて、上手に「人生の簡素化」やリフレッシュをしながら日本のガリラヤのような北海道の片隅で「小さな奉仕の場」を見出し歩んでいきたいと願っています。無牧師になる帯広教会のために引き続

き、お祈り下さい。本当にお世話になりました。「わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこで（こそ）わたしに会うことになる」（マタイによる福音書28：10b）

## ●『厚岸地区礼拝』について

釧路教会牧師 奥村 敏夫



連合会長・西島兄から、上記の中味やねらいについて何か書いてみて下さいとの依頼を受けたことをきっかけに、丁度丸一年を迎える釧路教会での「構想」「契機」「展開」「余録」などについて短くまとめることにした。

私は釧路教会への赴任が決まった一昨年秋から、この教会のこれからの伝道と教会形成について考え始めた。4年間の無牧師の期間に新会堂を建設するなど、信徒の方々の自立的な動きと近隣の教会による連帯の動きがある一方で、教会の徒歩5分内にある他教派の二つの教会が事実上閉鎖する等、厳しい宣教の環境は変わってはいないし、根本的な再検討の必要を感じていた。教会の役員会も以下の考え方を支持して下さった。

### (1) 構想

旧来の、会堂を中心に一年間に数名の新来者を待ち続けるタイプの方策の延長では今後の教会形成はやはり厳しい局面が予想される為、新しい「伝道圏伝道」を試みてはどうか。これは半世紀程前に、将来の伝道所づくりを目指して福岡・南九州等で試みられたものとは違い、教会を改めて'多極的'に捉えなおし、地域的な礼拝する群を起こしていくことを目指すものである。

### (2) 契機

一年前の赴任とほぼ同時に、「年に1回か2回来られる」多田さんとそこで研修中の通称ジョーさんがイースターにお見えになった。彼は50数年前に米国でクリスチャンになり、永いブランクのあと最近年に1~2回来られるようになったらしい。ジョーさんはフィリピンのチャーチオブクライストでクリスチャンになられた方である。多田さん一家は厚岸で牧場を営んでおられ、生物相手のため片道1時間の教会に来るのは難しかった。多田さんと相談して8月から毎月1回'厚岸地区集会'を持つことになった。初めての方も加えられ、8人~9人の集会が定期的に持たれるようになった。

### (3) 展開

多田さんのご家族や他の牧場で働く別なフィリピン人の方や求道者の方も増え始めた為に、10月の教会の半期総会の折

に、この地区集会を「厚岸地区礼拝」と位置付け、重複者を除いて'礼拝出席者'に加えられることになり、主の晩餐式も持たれることになった。他の教会員も加わり交わりに厚みが増えた。11月の「礼拝」の中で、多田さんご夫婦がバプテスマの決心をされ、関東から移って来られた厚岸在住の青年も転入会を申し出られた。この為、今年に入ってからほぼ毎週のように厚岸で「バプテスマ・入会準備クラス」が持たれ、ついに先日（イースター）でご夫妻のバプテスマ（多田兄が出席されていた米国の教会は消滅し無籍状態に。本人の希望により改めて夫妻揃って受けることに）と今村兄の入会がとり行われた。前週の1名の入会に加え計4名が3月に入会することになった。

### (4) 余録

ジョーさんと話していると、厚岸地区には約20人のフィリピン人の方（多くはクリスチャン）がいて、昨年もクリスマスにはみんなで公民館に集まってお祝いしたと言う。礼拝はなかった。そこで今年のクリスマスはお祝いの集いの冒頭に牧師がメッセージ（英語で?!）をし共に礼拝をすることになった。

以上釧路教会の新「伝道圏伝道」の骨組みだけを紹介した。このように周辺地域にやがて複数のミッションポイントをつくることと共に、将来地元で地区集会を担うことができる人材（信徒）の訓練が不可欠となる。しかしトライ・アンド・エラーを恐れずにやっていきたい。





## 2016年 北海道バプテスト連合 定期総会案内

いつも連合のためにお祈りとお支えを心から感謝いたします。以下のように2015年定期総会を招集いたします。祈りつつご準備ください。なお、代議員登録その他の詳細は別紙にてご確認ください。

連合会長 西島 啓喜

日 時 2016年4月29日(金) 9:30～15:30

会 場 札幌バプテスト教会・礼拝堂

総会牧師 石橋 大輔 牧師

議長団 議長 本多 啓示 氏、副議長 松坂 有佳子 氏

代議員 各教会3名以内(連合規約12条)

旅費補助 代議員の旅費を補助します。宿泊費補助の対象は、函館、函館美原、釧路、帯広、連合役員、議長・副議長です。

- 議 案
- ① 2015年度活動報告
  - ② 2015年度決算報告および監査報告
  - ③ 2016年度活動計画
  - ④ 2016年度予算
  - ⑤ 2016年度定期総会日程および会場
  - ⑥ 次期総会役員選出
  - ⑦ その他

### ♪連合総会プログラム♪

- 9時半～各会
- 10時半～開会礼拝
- 11時～議事1(報告)
- 12時半～昼食
- 13:15～議事2(計画)
- 15時～閉会礼拝

教勢報告 各教会20部印刷して総会当日ご持参ください。当日、冊子にして各教会に配布させていただきます。総会に欠席される場合は、4月23日(土)までに書記(田代ゆか・苫小牧教会)まで、教勢報告をご送付ください。「主な行事」は、その教会独自のプログラムなど、連合の諸教会で分かち合いたいと思われる行事などをお書きください。「祈りの課題」は、与えられた幻や取り組みなどをご自由にご記入いただき、連合諸教会で分かち合っていきたいと思っております。

※本年も議事に先立ち、各会の総会時間を確保しました。ぜひこの時間からの出席をお願い致します。

### ●「2016年北海道バプテスト連合 宣教会議」の開催について

2015年度連合総会の決定に基づき下記の要領で、標記会議を開催します。今後の北海道伝道の方策について幅広く意見を交換する場としたいと考えています。限られた予算の中ではありますが積極的な参加をお願い致します。

●日時：4月28日(木) 19時から21時 ●場所：札幌バプテスト教会 ●参加者：各教会から1名以上 ●旅費補助：各教会1名分だけ交通費を補助します。また札幌市以外の参加者には1名分の宿泊費を規程に基づき補助します。